

受講番号 18003 学校名 中芸高等学校 氏名 畠中 教子

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年1H 生徒数 7名
 科目名 オーラル 単位数(授業時数) 2時間 使用教科書名 OPEN DOOR to Oral communication BOOK

クラスの様子・特徴

男子3名、女子4名の小規模なクラスである。就職を希望している生徒が多く、英語に対しては苦手意識が強い生徒ばかりである。普段は全体的におとなしく、授業中の発言も少ない。

問題の確定

自信がないために、発言が少なく、積極性があまりみられない。全体的に語彙が少なく、1年次に学習する単語も定着していない。

予備調査

A 授業の観察

英語を苦手と感じている生徒が多いクラスである。英語に対する自信がなく、意欲的な態度が見られない。ALTとの授業では比較的楽しく取り組めており、意欲が感じられる。ALTとの授業以外でも、意欲的に取り組めるようにしたい。

B 生徒による授業評価

生徒の興味を引き出すために、生徒の希望する授業形態についてアンケートを行った。実力をつけたい反面、通常の授業では興味を持ちにくいようである。授業の方法はパソコンや映画など、自分の興味のあることと関連させて学びたいと答えた生徒が多い。

C 学力データ

1学期中間考査の英語の成績を見た。平均点は55.6点であるが、選択問題の得点が高く記述問題は解答率が低い。また、1年生用のワークブックを用いて、基本的な語彙の理解度を見るテストを行ったが、正解率は全体的に低い。(6月平均正解率47%)

リサーチ・クエスチョン

英語に対する苦手意識が強く、自信がないことから、授業中にも積極性が見られないクラスで、意欲的に授業に参加し、英語がわかるという実感を持てるように基礎的な英語力をつけるにはどのような指導が必要か。

仮説・実践・検証

仮説1

振り返り学習を定期的に行うことで、既習事項の定着を図ることができるだろう。

実践1

前回学習した内容を授業の最初に復習する。新出単語や、熟語を教科書やノートなどで確認しながらワークシートに書き込ませる。ALTとの授業の後なども、単語が定着していないようときは、次時の授業の最初に全員で再度確認をした。また、これまで1時間に導入する語彙が多いときがあったので、ALTとも相談し、語彙を絞ったり、2時間に内容を分けるなどの工夫をした。

検証1

復習用のワークシートは好評であった。アンケートでも、生徒全員が「理解しやすかった」と答えている。1時間で終わらせていた内容を2時間に分けて復習を入れながら行うことで、より単語やフレーズの定着が図れたようである。

仮説2

一斉の授業形態ではなく、ペアワーク活動やグループ活動などを積極的に取り入れることによって、全体で発言することに抵抗を感じている生徒も活発に発言をするようになるだろう。

実践2

ALTとの授業では、男女別のグループに分かれての活動を積極的に取り入れた。また、活動内容にあわせて、ペアワークなども多く取り入れるようにした。

検証2

ペアやグループでの活動にすると、より活発にできており、楽しいと感じているようである。アンケート結果からも、生徒には好評であり、半数の生徒がペアワークや男女に分かれてのグループ活動が好きだと答えている。また、「普段の授業では一斉の形のままでよい」という意見が多かった(6名中5名)ものの、会話練習の際にペアで自由作文をさせたときは、「楽しかった」と答えた生徒が多かった(7名中4名)。

仮説3

授業に、生徒が興味を持っているものと関連させて学習することで、英語学習に対してもより意欲的に取り組むようになるだろう。

実践3

アンケートで生徒から要望があった。パソコンを使った授業を行ったり、洋楽を取り入れてみる。1学期にはスピーチに向けての資料集めに、インターネットで検索をした。また、パソコンで単語テストもやってみたが、テストの仕方の説明に時間がかかり、1回しか行わなかった。2学期には洋楽を使って、リスニングや英文和訳をした。

検証3

インターネット検索は意欲的に行い、その後のスピーチも仕上げる事ができた。洋楽のリスニングは、普段の授業で聞く英語とは違って「聞き取りづらい」と感じた生徒が多く、「難しい」と感じているようだ。聞いた単語を書き取ることができた生徒は1名のみで、その生徒も1語しか聞き取りができなかった。事前の選曲も大事である。

研究の成果

6月に実施した単語テストと同じものを10月に実施したところ、7名中5名に語彙力の向上が見られた。また、生徒1人ひとりを見ても、多くのものが少しずつ語彙を身につけている。アンケートで、自分自身で英語学習への意欲をどう感じているのかを聞いたところ、無回答の1名を除き、6名が「意欲的に取り組んでいる」と答えた。英語学習に対しては、「難しい」という意見もあるが、「わかるようになりたいと思う」などのように、前向きな気持ちで取り組むことができ、成果が出たように感じている。

今後の授業改善の課題

「楽しかった」とどまることなく、学習意欲が結果につながるように、今後も授業改善をしていきたいと思う。今回の研究で効果が見られた活動方法は今後も取り入れつつ、他の先生方の授業実践も参考にさせていただき、生徒の意欲を引き出す授業をめざしていきたい。